基本構			
章	節	項	方針
本編			
1.	整備		
	_	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		1300000 13000	とのような施設にすることを目指して構想を策定するかを記載。サービス面の魅力、
		(1) + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
		(1)基本構想策定の趣旨	管理運営の効率性を目指す点や、大熊町教育大綱に記載の「温故創新」の姿勢を体現
			する点、町内外の人の集う場とする点を記載。
		(2) 大機相の地見	震災・原発被災期からの大熊町における社会教育の活動状況とともに、今後求められ
		(2)本構想の背景	る機能を、活動方針を念頭に置いた形で記載を行う。
	1-2	- . 構想の位置づけ・各種関連計画での位置づけ	
			  大熊町内で取り組むプロジェクトとして記載されている、(1)安心・安全の環境づく
			り、(2)町内での日常生活を送るための環境づくり、(3)町内での新たなコミュニティ形
		(1)大熊町第二次復興計画改訂版(平成31年3月)	
			成、(4)関係人口・交流人口を増やすための取り組み、に対して社会教育複合施設がい
			かに寄与するかを記載する。
		(2) 上华四位 — #4 +	まち・ひと・しごと総合戦略および人口ビジョンに基づき、町内の生活と町外からの
		(2) 大熊町第二期まち・ひと・しごと創生人口ビジョ	担い手の呼び込み等による人口回復に向けた取り組みとして同じ方向性を向いている
		ンおよび総合戦略(令和2年3月)	旨を記載する。
	+	(3)大熊町特定復興再生拠点区域復興再生計画(平成	
			此点怎需要 4 物 上 a 物 # 4 . = 42 D. 4 . 7 m = 3 . 4 . 7
	1	29年10月)	特定復興再生拠点の避難指示解除を確認する。
		【 【4】大熊町教育大綱(令和2年6月改訂)	大綱に示された教育目標のうち、社会教育に関する記載を取り上げ、複合施設整備の
			根拠を記載する。
2.	前提	- 	
	2-1	. 大熊町の概況	
	1	(1) 人口	令和4年3月のデータを記載する。
		(1) 八口	住宅、産業、福祉、商業など社会インフラの整備状況、1F、中間貯蔵施設、避難指
		(2) 町内施設と機能	
			示解除状況と今後の見通しを記載する。
		(3) 周辺地域の環境	双葉郡及び浜通りでの避難指示解除の現況(人口等含む)、福島国際研究教育機構に
		(3) 月四地域の環境	ついて記載する。
	2-2	. 既存施設の現状と課題	
		(1) 既存図書館	概要、建物のプロフィール、これまでの事業内容等を記載する。
		(2) 既存民俗伝承館(既存図書館内)	概要、建物のプロフィール、これまでの事業内容等を記載する。
	-	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	
		(3) 既存公民館	概要、建物のプロフィール、これまでの事業内容等を記載する。
	2-3	. 類似施設調査およびヒアリングによる比較と課題	
		(1)周辺地域の類似施設整備概況と課題	まなびの森図書館、いわき市中央立図書館、浪江町の図書コーナー、東日本大震災・
			原子力災害伝承館、とみおかアーカイブ・ミュージアムの概要、特色を記載する。
		(2)図書館の設置及び運営上の望ましい基準及び同規	■ 図書館の設置及び運営上の望ましい基準及び同規模自治体等との比較データを記載す
		模自治体等との比較	
	-		3.
		(3) 他地域先進事例との比較と課題	那須塩原市立図書館みるる、久慈市立複合施設YOMUNOSUの事例から大熊町への示
		(1) 10 0 30 30 3 1 3 1 3 2 1 3	唆と課題を記載。
	2-4	. 敷地条件	
		(1)建設予定地の概要	敷地について、面積や住所等や特性、現状などを記載。
		(2)建設予定地における条件等	敷地における建築の条件となる、用途地域や法令上の制限を記載。
		(2) ZEK 1 Z-81441) Ø X(1) (1)	全体は参考資料に記載。ここでは開催概要・重要項目を記載。計画の中でどのように
3.	町月	<b>ミニーズの把握</b>	
	1		反映しているかを明確に記載。
			分析結果を記載。新施設に求めること、利用にあたっての障害となることなど、各属
	3-1	アンケート	性の方が考えている内容を大まかに記載。加えて自由記述内容の中で特に重要と思わ
			れるもの、あるいはテキストマイニングの結果等を記載する。
			各対象グループごとに教育総務課が考える要点を記載。特に5章以降に関わる、利用
	3 2	. ヒアリング	にあたって求める内容や、設けて欲しいと考える室などを重点的に記載する。5章や6
	3-2	. ( ) ) / )	
	1		章の動線計画への反映を意識した記載とする。全資料は参考資料に記載。
			1回目としては大きく町とどのように関わりたいかを属性別にまとめるとともに、社
	3-3	. ワークショップ	会教育複合施設において資料や場を用いて行いたいことの意見を集約。特に5章の活
			動方針や事業案への繋がりをわかりやすくする整理を行い、記載。
			必要に応じ、アンケート、ヒアリング、ワークショップ全体で、施設の計画に関わる
	3-4	. 施設機能に関する議論	内容をまとめ、記載。
	<u>₩-</u>	+チュムト かけっ <del>ジェ</del>	「7年でみこの、10年10
4.	1	<b>付委員会における議論</b>	
	4-1	. 検討委員会の概要	構成員、開催日時、議題(概要)の記載。

て、大郎町立会教育の目指す姿		4-2.	施設整備計画に関する議論	コンセプト、活動方針、事業案など主に5章に関する議論を記載予定。
5. 装備に築る考え方		4-3.	施設計画に関する議論	施設規模、動線計画、整備スケジュールに関する議論を記載予定。
5-1、大部助社会教育の目指す姿		4-4.	管理運営計画に関する議論	管理運営の体制などに関する議論を記載予定。
	5.	整備	情に係る考え方	
要選し、自分しくときをいて、ことを目指す旨を記載する。 「大阪で学ぶ!「大阪の変化と記録のつなく!」というキーワードを利いなから、計算 自起している内容などを記載。 コンセプト素帯に向けた設合 5-3、コンセプト素帯に向けた設合 5-3、コンセプト素帯に向けた設合 5-3、コンセプト素帯に向けた設合 5-3、コンセプト素帯に向けた設合 5-4、素物方針と導入機能 5-4、素物方針と導入機能 5-4、素物方針と導入機能 6-1、素体の変化を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を				大熊町の社会教育の目指す姿として「主体的に生きる」という言葉を設定する。そし
1大悪で学ぶ    大売の記憶と記録からなぐ  上いう 2 本件について、学び 熟点、思いら指かり繋げている場合。		5-1.	. 大熊町社会教育の目指す姿	て、大熊町の社会教育において、この町に関わるすべての人の主体的な考えや行動を
9.5.2、後金能設コンセプト  製点、思いを預かり繋げていく製造、というキーワードを用いながら、辞書 目指していて何報かとを完成。 コンセプトを発見するからには、原本の関点党、博物館、公文音館、公成語 15.3、コンセプトを発見するからには、便本の関点党、博物館、公文音館、公成語 はたり、今様の資料による場面的な学は、加えて学によどよらない活動のかでする場合と、今様の資料による場面的な学は、加えて学によどよらない活動のかでする場合となった。日本のようなで記念、利用帝目報で地位のようの「包装がか」を関係性を示す図、副研究とともに、コンセプトを表現をしてらまった場合で記念、利用帝目報で地位のようの情報と関係となった。大きの実施を対したことのから、何からさる動となるのかを与からなうるが表現の表しまして、カナーしたものという前途で記載する。これらに事業業を倒示として記述したものという前途で記載する。これらに事業業を倒示として記述したものという前途で記載する。これらに事業業を例示としておかくと言葉に関連する基体を質制をそろえ、利用者の表面のなどはにするという場所での表現の集ました。これらに事業の要素には対したものという前途で記載する。これらに事業の主意がいたが、国のの関係を対しているが、自のの行力は、これの事業の業に対しているが、自のの行力は、対しているが、自のの行力は、自のの関係を対しているが、自のの行力は、自のの関係を対しているが、自のの行力には不同を表えを持つ人と対話に表すること自己者で、事態を活を表し、対しているが、自己の主意を表しまし、利用者の出、利用者の主意を表し、規定と思から明まな目前のより、利用者の出、利用者の経験を発音に関係を通信とより、利用者の出、利用者の経験を発音に関係を通信とより、利用者の経験を発音に関係を通信といいかを考え、施設で特別を指定の当まました。これの主意を表しまました。ま述に対している。「意味と言うと考していると言うと感じられる助にする機能といっていると言うと感じられる助にする機能ともいっていると言うと感じるといいのを表しましていまされているといいのと言うと感じないまされているといのと言うと感じないまされている。「意味計画  「これの主意なの事態を表しましています」を表しないまされている。「これの主意なの事態を表しましています」を表しない事だのの対している。「これの主意なの事態を表しましています」を表しないます。といいの表にないます。まだいます。またいましないます。またいないます。またいましないます。またいましないます。またいましないます。またいましないます。またいましないます。またいましないます。またいます。またいましないます。またいましないます。またいまたいまたいます。またいまたいます。またいまたいます。またいまたいます。またいます。またいます。またいまたいます。またいまたいます。またいまたいまたいます。またいます。またいまたいまたいまたいます。またいまたいます。またいます。またいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいます。またいまたいまたいまたいまたいまたいまた				支援し、自分らしく生きていくことを目指す旨を記載する。
15-1、下のでは、				「大熊で学ぶ」「大熊の記憶と記録をつなぐ」という2本柱について、学びと交流の
コンセプトを実現するためには、従来の図言館、情物館、公文書館、公園語のかったさる地とする動きからのとできる地とする動きがあると思いまます。 5・3・コンセプト実現に向けた融合 お合し、多味な世科による予問的な学び、加えで学びにとどよりない活動を のができる地とするとが必要できる。という例表で記載、利用時目論で ことのような場とすることが必要できる。という例表で記載、利用時目論で 場となるのか、例ができる場とするのかを明らたにする形で記載。 2 加方特に関した形で図書館へ作物館へク屋館という文章を足の図とは全したものという前肢で記載する。これらに事業業を何表として記載としたものという前肢で記載する。これらに事業業を何表として記載したものという前肢で記載する。これらに事業業を何表として記載したものという前肢で記載する。これらに事業業を何表として記載する。ことで、同時自の学びを支える。人間内外への利用者の多面的な学びにつなびまます。 3 加水を含まる上で欠かせない資料を基盤し、専門的な研究を加えな方となり取締した。文色製画の表してようちょうな認識と対していたのに、実施して、大きに表していたのでは、企業実践を対していた。文庫を持ち、大きに表していたのでは、会社の大きに表していたのでは、全人製造社会の表し、大きにようまとも自己を表しまました。利用もの見識とまる主き、知識と関系の一体化 イベントの間壁で、前を認めが認知的な業値により、利用も同土、利用も同土・利用を一般に、一般に対していたがの表していまりを行ったといましていまりを行っていまりを構造に、例面ともに、ころしたい可を行むには何をすればいいかを考え、施設で係を、需求、環境:各種イベント・措度の開始、近隣施設等との連携、住民団から対していた。日本のよりとは、日本のもの関ともに、ころもしたい可を行むには何をすればいいかを考え、施設で「特別を開発していま」というは関係を表していると、大きに表しないとありているとでは、カールでは、日本のよりによる形式を表していると、大きに表しないとありていると、大きに表しないとありましていると、大きに表しないとありまります。  6. 建設計画 6.1 施設が展  「1) 地内では一体を参考に影響の検討を行う。 他自当体の事例 ・人間の内に一体を参考に影響の検討を行う。 他自当体の事例 ・人間の内に関連の必要的記述とないと、以及の連続性、現面的論故との場別を目的の方針 ・大部のの場所を通識の必要がなされていないため、現との連続性、現面的論故との場別を目的の方針 ・大部のの場面を対しないましない。必要が含まれているいましない。必要が含まれているが、現日的論故との場別を用いるの言葉を目がなるれていないため、現との連続性、現面的論なとの場別を用いるの言葉を目がなるれていないため、現との連続性、現面的論なとの表別を用いる言葉を目がなるれていないため、現との連続性、現面的論なとの表別を用いる言葉を目がなるまれていないため、現との連続性、現面的論なとの表別を用いる言葉を目が表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま		5-2.	複合施設コンセプト	拠点、思いを預かり繋げていく拠点、というキーワードを用いながら、詳細な内容、
8合1、多様な資料による多雨的な学び、加えて学びにとどまらない完動を のがきるも続とする必要があると音を超過する。 5つの「活動が育と 保険性を示する」 観明文とともに、コンセットを表現 にこのような最とするとを必要である。という構成で用級、利用自自成で 場合した。例ができる場となるのかを明らかにする形で形成。 「最初が育と与人機能 「なるのか、例ができる場となるのかを明らかにする形で形成。 「最初が育と与人を受けることが多更である。という構成で用級、利用自身ではしたものという前提で用級する。これらに事業を例示として元就。 「は、大熊での学びを支える資料や情報を大切にする。 「は、大熊での学びを支える資料や情報を大切にする。 「は、大熊での学びを支える資料や情報を大切にする。 「は、大熊での学びを支える。大阪に内臓などの利用をの容の自然を行わるなったことで、前面もの学びを支える。大阪内内が大阪内臓などの利用をの容の自然学がしてなける主要を、実験・図書の際な、文化財研究に及の機能・利行・公園・ 「は、大阪内の原装」が、大阪内の原装、のの機・利行・公園・ 「は、大阪内の原装、大阪内の原装・カル・カルの音を、対し、大阪内の原装・カル・カル・カル・自らの完成を のなからす。自らの時でがで、大な人が同様を対して利用をものに対しています。 「は、大阪内の原装・関連であると関する。」 「は、大阪内の原装・関連を表現」を施設に共主し、利用者には、利用者に、利用者に、対理者と表現としていましていましていましていましていましていましていましていましていましていま				目指している内容などを記載。
のができる場とする必要がある旨を記載する。 5つの「活動分割」を開発性を示す四、説明文ともに、コンセプトを実施に立ったが起こすることが必要である。という構成で可能、利用者目除することが必要である。という構成で可能、利用者目除することが必要である。という構成で可能、利用者目除することが必要である。という構成で可能、利用者目除することが必要である。という構成で可能、利用者の高いというあることで、可能のの学びを支える資料や情報を大切にする 「(1) 大陰での学びを支える資料や情報を大切にする 「(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する 「(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する。 「(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する。 「(3) 他人を尊重し、仲間をつくる 「(4) わたしの生活や事なの場所と、対しましたが必要と表現に共有し、利用者と施設を機能の場所を表現というなの場所を表現と対していることで、同じの分から関係を表現というなの場所を表現による要素や特別、別温といったおとオースに上述しているが、が成長することを目指す。 「(3) 他人を尊重し、仲間をつくる 「(4) わたしの生活や事もす地域を豊かにするための学を得み出す 「(4) わたしの生活や事もす地域を豊かにするための学を得み出す 「(5) 一人でいても温かと一部でもいい、みんなの選場所を記している。 「(4) からより本ましたのできる。 「(4) からより本ましたのできる。 「(4) からより本ましたのできる。 「(4) からより本ましたのできる。 「(4) からよりなまましたのできる。 「(4) からよりを持ちましたのできる。 「(4) からよりを持ちましたのできる。 「(4) からならなる。 「(5) 一人でいても温かと一部でもいい、みんなの選場 所をつくる 「(4) からよりを表する。 「(5) 一人でいても温かと一部でもいい、みんなの選場 だんなんでも「受け入れられている」「安心できる」と応じられる町にする場外を得る。 「(5) 一人でいても温かと一部でもいい、みんなの選場所をつくる 「(4) 別数の全体系域 「(5) 一人でいても温かと一部でもいい、みんなの選場 「(5) 一人でいても温かと一部でもいい、みんなの選場 「(7) 所収を多さし現代の表すを行う。 「他自体体の事例」 「他自体の事を、 (7) 財政の全体系域 「(7) 財政の全体系域 「(7) 財政の全体系域 「(7) 財政の会権を、 (7) 財政の会権を、 (7) 財政の会権を、 (7) 財政の会権を、 (7) 財政の会権、 (7) 財政の会権を、 (7) 財政の会権、 (7) 対なの会権、 (7) 財政の会権、 (7) 財政の				コンセプトを実現するためには、従来の図書館、博物館、公文書館、公民館の機能を
5つの「活動方針」を関係性を示す図、即項文とともに、コンセプトを実践にこのような場合することが必要である。という構成と言葉が影響を認識していまった。 「30 人		5-3.	. コンセプト実現に向けた融合	融合し、多様な資料による多面的な学び、加えて学びにとどまらない活動を行うこと
にこのような場とすることが必要である。という構成で完就、利用者目標であるない。   おとなるのか、何かできる地となるのかを問からいまする形で記載、   がありまたいた形で図書店/				のができる場とする必要がある旨を記載する。
第となるのか、何ができる場となるのかを明らかにする形で記載。   差別方針に則った形で図画像/  神物度/公良程という文言を項の配きはすすしたものという前便で記載する。これらに事業業を研えていませた。   (1) 大照での学びを支える資料や情報を大切にする   表現が大無即き加る上で大かせない資料を高騰し、海内的な研究を加えなることで、明確ロの学びを支える。大協同内がでが利用者の書うしやまた。   (2) 失人が得み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する   本書記の実入、文化財資料の変集、大地での金属金・池行・公開   表記が、大きの大力・不に出金い、自らの見職金   本をが、大きの大力・不に出金い、自らの見職金   本をが、大きの大力・不に出金い、自らの見職金   本をが、大きの大力・不に出金い、自らの見職金   本をが、大きの大力・不に出金い、自らの見職金   大きの大力・不に出金の大力・不に出金い。自らの見職金   本をが、大きの大力・不に出金い。自らの見職金   本をが、大きの大力・不に出金の大力・不に出金い。自らの見職金   大きの大力・大力・関連を表示の本権を対し、利用者に対し、利用者に対し、機関とのつながりを持ち、同じ考え、異なる考えを持つ人と対話し作る。 事業・環境・各種イント・講座の開催、道線施設等との連議、住民間がどの情報が信   中間ともに、書きしたい司を作るには何をすればいいかを考え、施設で作業、企業を始め出す   本書記を持ちって自分の生活をより支援したものにするため、実際に対して事業・環境・各種イント・講座の開催、道線施設等との連議、住民間がどの情報をもって自分の生活をより支援したものにするため、実際に対し、表現があた。   本書記を持ちって自分の生活をよりできる。 大きないまり、大きにより、大きにより、大きにより、カフェ機能、入りやすいエントランス   大きに対し、大きに対し				5つの「活動方針」を関係性を示す図、説明文とともに、コンセプトを実現するため
活動方針に関った形で図書館/博物館/公民館という文言を返の理とは中学したものという前接で記載する。これらに事業家を例示として記載。  (1) 大脳での学びを支える資料や情報を大切にする (1) 大脳での学びを支える資料や情報を大切にする (1) 大脳での学びを支える資料や情報を大切にする (2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する (2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (4) わたしの生活や暮らす地域を置かにするための一参を踏み出す (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの影場 所をしていましたもの目が表現したものにするため、実際に近の情報的な分析により、利用者目上、利用者と終別を機関とのつながりを持ち、同じ考え、選なる考えを持つ人と対域・作る。 第業家・環境:各種イベント・環座の開催、近隣施設等との連携、住民団がの情報のを整か出す (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの影場 所をつくる (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの影場 原場・ほどもに、夢ししたい司を作るには何をすればいいかを考え、施設で作るが 環境・住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談、の支援、ボランティア育成支援 とんな人でも「受け入れられている」「変心できる」と感じられる間にする情報提供・学習相談、交援、ボランティア育成支援 とんな人でも「受け入れられている」「変心できる」と感じられる間にする 東端・環境:託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス 中海とかっての 他のなを考に規模の検討を行う。 他自治体の事例 (1) 施設の全体提供 下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。 他自治体の事例 大脳の関係の音を目断者例でも変しての割合 大脳の関地の通常よび形状 利用者とよび管理者の必要面積およびその割合 大脳の関地の情報をなど、は具体的数字を記載する。 (2) 経営商館の意定 短尾の音をといい。必要を注意していている。アメテまなの音を記載する。 (2) 経営面積の意定 経過を記載しない。 必要を件となるもの (収蔵年記のの相談をなど) は具体的数字を記載する。 6-2 動館計画の方針 グラ音線の決定がなられていないため、駅との遺伝性、駅間へ除設との間でる。というレベル器で記載、よいらレベル器で記載、よいらレベル器で記載、またりレベル器で記載、またりレベル器で記載、またりレベル器で記載、またりレベル器で記載、またり、単端の対すながよりないるがでは、単位のの意を質量は記載しない。 ※原料と値かの影響 は、秋田・佐藤波との様でする。というレベル器で記載、またりレベルスを含むないのでは、またりレベルスを含むないのでは、またりレベルスを含むないのでは、またりレベルスを含むないのでは、またりレベルスを含むないのでは、またり、レベルスを含むないのでは、またりレベルスを含むないのでは、またり、レベルスを含むないのでは、またり、レベルスを含むないのでは、またり、サームを表しないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを表しないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、サームを含むないのでは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり				にこのような場とすることが必要である、という構成で記載。利用者目線で何をする
(1) 大照での学びを支える資料や情報を大切にする 施設が大熊町を知る上で欠かせない資料を密観し、専門的な研究を加えなかることで、町銭自の学びを支える。大熊町内外での利用者の暮らしやまちてえる課題に関連する多様な資料をそろえ、利用音の多面が全球につなけて事業・環境・図番の地元、全批財資和の経験・担合の多面が全球につなけて事業・環境・図番の地元、全化財育和の経験・担合の支援・優別資料を表した。 の収集、各種資料の保管、文化財研究成果の編集・刊行・公開・施設である資料や情報、知識といった知にスムーズに出会い、自らの見場があるされ、自らの持ち、間とはに経験を差定)を施設に共有し、利用者と施設を表で、事業・環境・電子機能資出、町民からの開き取り事業、オンラインレファデジタル度所、際と度示から一体化 イベントの開催や、町民活動の機態的な発症により、利用者目上、利用者と施設・修規関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対域に作る。 第業素・環境・経過イベント・請雇の開催、近隣訴訟等との連携、住民団権がある。 第業・環境・経験・ともに、夢らしたい町を作るには何をすればいいかを考え、施設で保護、大の関係をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に対して、ボランティア育成支援 だっないでも進かと一緒でもいい、みんなの配場 所をつくる 第二級計画 (5) 一人でいても進かと一緒でもいい、みんなの配場 所をつくる 第二級計画 (1) 施設の全体規模 下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。 他自会性の事例 ・大照町内原存訴訟回稿 「利用者の必要要請はおよびその割合・本施設の数配面検えよび手供		5-4.	活動方針と導入機能	場となるのか、何ができる場となるのかを明らかにする形で記載。
(1) 大熊での学びを支える資料や情報を大切にする  施設が大熊町を知る上で欠かせない資料を蓄積し、専門的な研究を加えなることで、町独自の学びを支える。大熊町内外での利用者の暮らしやまちでえる課題に関連する多様な資料をそろえ、利用者の多雨的な学びにつなける事業家 環境: 図室の購入、文化財資料の収集、歴史的公文書 (鑑賞資料を 1)の の実施を全種契料の収集、歴史的公文書 (鑑賞資料を 1)の の実施を全種契料の収集、歴史的公文書 (鑑賞資料を 1)の の実施を全種契料の収集、歴史的公文書 (鑑賞資料を 1)の の実施を全種契制の収集、歴史的公文書 (鑑賞資料を 1)の の実施を発展に対して、1 日の 1 日の				活動方針に則った形で図書館/博物館/公民館という文言を項の題とはせずに、融合
(1) 大際での学びを支える資料や情報を大切にする				したものという前提で記載する。これらに事業案を例示として記載。
(1) 大熊での学びを支える資料や情報を大切にする				
(1) 大際での学びを支える資料や情報を大切にする				  施設が大熊町を知る上で欠かせない資料を蓄積し、専門的な研究を加えながら発信す
大る課題に関連する多様な資料をそろえ、別用者の多面的な字がにつなけど。 事業業・環境:図売の報義、交化財研究成果の編集・刊行・公開 施設にある資料や情報、知識といった知とスムーズに出会い、自らの見の思惑を共 有する  (2) 先人が枯み重ねた知識に学び、わたしの経験を共 有する  (3) 他人を募重し、仲間をつくる  (3) 他人を募重し、仲間をつくる  (4) わたしの生活や暮らず地域を豊かにするための一 歩を踏み出す  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの配場 所をつくる  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの配場 所をつくる  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの配場 所をつくる  (6) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの配場 所をつくる  (7) 施設が間  (8) 施設計画  (9) 経験計画  (1) 施設の全体規模  (1) 施設の全体規模  (1) 施設の全体規模  (2) 諸重面情の想定  (2) 諸重面情の想定  (3) 他人を導生し、行きのしたい助を作るには何をすればいいかを考え、施設や育 製、人間関係をもって自分の生活をより充実したのにするため、実際に没 カンェ 神経・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆・ 大胆				ることで、町独自の学びを支える。大熊町内外での利用者の暮らしやまちづくりで抱
(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する (2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (6) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (7) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (8) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (9) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (1) 施設規模 (1) 施設規模 (2) 諸室面積の想定 (2) 諸室面積の想定 (3) 他人を募集を持つ人と対話した。 (4) かたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (6) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (7) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (8) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (9) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの歴場所をつくる (1) 施設規模 (2) 諸空面積の地で、 (2) 諸空面積の地で、 (2) 諸空面積の地で、 (2) 諸空面積の地で、 (3) 他人を募集といるが積み、 (4) からの数線			(1) 大熊での学びを支える資料や情報を大切にする	える課題に関連する多様な資料をそろえ、利用者の多面的な学びにつなげる。
(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する (2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (3) 他人を尊重し、仲間をつくる (4) わたしの生活や夢らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる (6) 建設計画 (7) 上 施設利検 (8) 上 施設・他機関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し作る。 事業案・環境:各種イベント・調座の開催、近隣施設等との連携、住民団がどの情報発作 (4) かたしの生活や夢らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる (6) 上 大 で				事業案・環境:図書の購入、文化財資料の収集、歴史的公文書(震災資料を主とす
施設にある資料や情報、知識といった知とスムーズに出会い、自らの見識をみならず、自らの持つ知(主に経験を想定)を施設に共有し、利用者と施設 成長することを目指す。  (2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共 有する  (3) 他人を尊重し、仲間をつくる  (3) 他人を尊重し、仲間をつくる  (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一 歩を踏み出す  (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一 歩を踏み出す  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの届場 所をつくる  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの届場 所をつくる  (6) 連設計画  (1) 施設の全体規模  (1) 施設の全体規模  (2) 諸室面積の想定  (2) 諸室面積の想定  (2) 諸室面積の想定  (3) を持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し (4) かたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一 歩を踏み出す  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの届場 所をつくる  (6) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの届場 所をつくる  (7) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの届場 所をつくる  (8) 連設計画  (9) ・				
(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する  おする  本業家・環境:電子書籍貸出、町民からの間き取り事業、オンラインレファデジタル展示、開発と展示の一体化  イベントの開催や、町民活動の積極的な発信により、利用者同士、利用者と施設・他機関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し作る。 事業家・環境:各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団などの情報発信。 (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの属場所をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に活うままりました。 (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの属場所をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に活うまままります。 (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの属場所をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に活力を対し、アンディア育成支援とんな人でも「受け入れられている」「安心できる」と感じられる町にする情報場になる。 事業家・環境: 託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス  6. 建設計画  6-1. 施設規機  下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例・大熊町の原存施設面積・利用者および管理者の必要面積およびその割合・木施設の製造配積および形状 利用者と管理者の必要面積およびその割合・木施設の製造配積および形状 利用者と管理者の必要面積およびその割合・木施設の製造配積および手が表している。必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  (1) 駅西エリア全体の動線  「アッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との扱する、というレベル感で記載。				施設にある資料や情報、知識といった知とスムーズに出会い、自らの見識を広めるの
(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する   応長することを目指す。  事業率・環境・電子書籍食出、町民からの関き取り事業、オンラインレファデジタル展示、開架と展示の一体化  イベントの開催や、町民活動の積機的な発信により、利用者同土、利用者と施設・危機関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し作る。  事業率・環境・各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団位どの情報発信  仲間とともに、暮らしたい町を作るには何をすればいいかを考え、施設で得報、人間関係をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に行う。  事業率・環境・住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談、の支援、ボランティア育成支援  どんな人でも「受け入れられている」「安心できる」と感じられる町にする 競をつくる  「会」をおり上になる事業・環境・託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス  6. 建設計画  6-1. 施設規模  下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例・大熊町内の既存施設両積・利用者および管理者の必要面積およびその割合・本施設の敷地面積およびが登場者の必要面積およびその割合・本施設の敷地面積割とを利用者側で必要となる諸室機能を記載。 ※原則は個々の諸室面積に記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  「デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との損する、というレベル感で記載。  「デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との損する、というレベル感で記載。  正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの種である。  正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの種である。				みならず、自らの持つ知(主に経験を想定)を施設に共有し、利用者と施設の双方が
# 業業・環境・電子書籍貸出、町民からの関き取り事業、オンラインレファデジタル展示、開架と展示の一体化 イベントの開催や、町民活動の積極的な発信により、利用者同士、利用者を施設・他機関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し作る。 事業、環境・各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団体どの情報発信 (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す			(2) 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共	
デジタル展示、開架と展示の一体化  イベントの開催や、町民活動の積極的な発信により、利用者同士、利用者と 施設・他機関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し 作る。 事業案・環境:各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団体 との情報発信  仲間とともに、暮らしたい町を作るには何をすればいいかを考え、施設で得 報、人間関係をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に済 う。 事業案・環境:住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談、 の支援、ボランティア育成支援 どんな人でも「受け入れられている」「安心できる」と感じられる町にする 職場、家と違うサードプレイスとして機能し、居場所がないと感じている があるす。 「たな人でも「受け入れられている」「安心できる」と感じられる町にする 職場、家と違うサードプレイスとして機能し、居場所がないと感じている ティネットになる 事業案・環境:託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス  6. 建設計画  「1) 施設の全体規模 「下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。 ・他自治体の事例 ・大熊町内の既存施設面積・利用者および管理者の必要面積およびその割合・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の画板割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  6-2. 動線計画の方針 「1) 駅西エリア全体の動線 「アッキ建設の決定がなされていないため、駅との遠談性、駅西他施設との指する、というレベル感で記載。 正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスての居			有する	
(3) 他人を尊重し、仲間をつくる に				
施設・他機関とのつながりを持ち、同じ考え・異なる考えを持つ人と対話し作る。 事業案・環境:各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団体どの情報発信 仲間とともに、暮らしたい町を作るには何をすればいいかを考え、施設で移板、人間関係をもって自分の生活をより充実したものにするための一歩を踏み出す ・事業・環境:住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談の支援、ボランティア育成支援 (5)一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる・選覧計画 6-1. 施設規模 ・下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う・・他自治体の事例・大熊町内の展存施設面積・利用者および管理者の必要面積およびその割合・本施設の数地面積および形状 利用者と管理者の面積剤と利用者側で必要となる諸室機能を記載。※原則は個々の諸室面積は記載しない。必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  6-2. 動線計画の方針 (1) 駅西エリア全体の動線 ・デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。 にて、駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からの動線				イベントの開催や、町民活動の積極的な発信により、利用者同十、利用者と職員や他
(3) 他人を尊重し、仲間をつくる 作る。 事業案・環境:各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団体 どの情報発信 仲間とともに、暮らしたい町を作るには何をすればいいかを考え、施設で得 板、人間関係をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に活う。 事業案・環境:住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談、の支援、ボランティア育成支援 どんな人でも「受け入れられている」「安心できる」と感じられる町にする 職場、家と違うサードプレイスとして機能し、居場所がないと感じている人 ディネットになる 事業案・環境:託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス 6. 建設計画 6-1. 施設規模 下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例 ・大能町内の既存施設面積 ・利用者および管理者の必要面積およびその割合・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の必要面積およびその割合・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の必要面積およびをの割合・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の必要となる諸室機能を記載。 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要学となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。 6-2. 動線計画の方針 デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との技する、というレベル感で記載。 正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からの野約				
事業案・環境:各種イベント・講座の開催、近隣施設等との連携、住民団体との情報発信  (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す  (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる  (6) 建設計画  (7) 施設の全体規模  (8) 下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例・大熊町内の既存施設面積・利用者よび管理者の必要面積およびその割合・本施設の敷地面積および形状  利用者と管理者の必要面積および形状  利用者と管理者の必要面積および形状  利用者と管理者の必要を対しない。必要要件となる語室機能を記載。  (2) 諸室面積の想定  (2) 諸室面積の想定  (3) 野西エリア全体の動線  (4) 駅西エリア全体の動線  (5) 日本にいるが表現機の検討を行う。・他自治体の事例・大熊町内の既存施設面積・利用者側で必要となる諸室機能を記載。  (6) 建設計画  (7) 原列・情報を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例・大熊町内の既存施設面積・利用者間で必要となる諸室機能を記載。  (8) 原列は個々の諸室面積は記載しない。  (9) 原列・特徴を参考に規模の検討を行う。・  (1) 駅西工リア全体の動線  (2) 財産の対象を記載する。  (3) 財産の対象を記載する。  (4) 財産よび形式・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・			(3) 他人を酋重し 仲間をつくる	
との情報発信 (4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す  (4) かたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる  (5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場所をつくる  (6) 建設計画  (1) 施設の全体規模 (1) 施設の全体規模 (2) 諸室面積の想定 (2) 諸室面積の想定 (2) 諸室面積の想定 (2) 財産場所の動線 (1) 駅西エリア全体の動線 (2) 財産場からの動線 (3) アッキを踏み出すであるには何をすればいいかを考え、施設で得報、人間関係をもって自分の生活をより充実したものにするため、実際に言う。事業・環境:住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談、の支援、・オランティア育成支援 (4) 人間関係をもって自分の生活をより充実したの同じする情報、大力・ドランスの関係により、大力・ドランスの関係を持ているが、大力・ドランス・関係を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の動態を参考に規模の検討を行う。・他自治体の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例・大能の事例を表示しているが表示している。というレベルをで記載。  「アッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との担する、というレベルをで記載。  「アッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との担する、というレベルをで記載。  「アッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との担する、というレベルをで記載。			(3) 厄火を発達し、肝間をラベッ	
(4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す				
(4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す				
(4) わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す う。 事業案・環境:住民・グループへの社会教育に関する情報提供や学習相談、の支援、ボランティア育成支援 どんな人でも「受け入れられている」「安心できる」と感じられる町にする 職場、家と違うサードプレイスとして機能し、居場所がないと感じている人 ティネットになる 事業案・環境:託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス 6. 建設計画				
歩を踏み出す			(4)わたしの生活や暮らす地域を豊かにするための一	
の支援、ボランティア育成支援			歩を踏み出す	
(5) 一人でいても誰かと一緒でもいい、みんなの居場				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
所をつくる			(5) - 人でいても誰かと一縷でもいい ユノ かの早場	
事業案・環境:託児機能、カフェ機能、入りやすいエントランス  6. 建設計画  6-1. 施設規模  下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。 ・他自治体の事例 ・大熊町内の既存施設面積 ・利用者および管理者の必要面積およびその割合 ・本施設の敷地面積および形状  利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  6-2. 動線計画の方針  「1)駅西エリア全体の動線  デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。  「正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの電			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
6. 建設計画 6-1. 施設規模 下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。 ・他自治体の事例 ・大熊町内の既存施設面積 ・利用者および管理者の必要面積およびその割合 ・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。 6-2. 動線計画の方針 (1) 駅西エリア全体の動線 デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。 正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの電			DD C イトの	
6-1. 施設規模	6	建設	 	ナネネ 水が・60元以前に、ハノエル以前に、ハツドサい・エノドノノヘ
下記の事例・情報を参考に規模の検討を行う。 ・他自治体の事例 (1)施設の全体規模 ・大熊町内の既存施設面積 ・利用者および管理者の必要面積およびその割合 ・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  6-2. 動線計画の方針  (1)駅西エリア全体の動線  デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。  正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの経	0.	1 - 1	···-	
		0-1.	. 心以冗怪	下記の事例・特報を参考に相模の検討を行う
・大熊町内の既存施設面積 ・利用者および管理者の必要面積およびその割合 ・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。 (2)諸室面積の想定 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  6-2. 動線計画の方針 デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。  (1)駅西エリア全体の動線 する、というレベル感で記載。 正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの資				
・利用者および管理者の必要面積およびその割合 ・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。  (2)諸室面積の想定  ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  (1)駅西エリア全体の動線  デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。  正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの留			(1) 佐乳の合体担持	
・本施設の敷地面積および形状 利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。 (2)諸室面積の想定 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。 6-2. 動線計画の方針  (1)駅西エリア全体の動線  デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。  正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの管			(1/ )地設の王  今郊侯	
利用者と管理者の面積割合と利用者側で必要となる諸室機能を記載。				
(2)諸室面積の想定 ※原則は個々の諸室面積は記載しない。 必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。 6-2. 動線計画の方針 デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接 する、というレベル感で記載。 正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの留	-			1.32.0.1.2.1.3.1.2.1.3.1.3.1.3.1.3.1.3.1.3.1.3
必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。  6-2. 動線計画の方針  (1) 駅西エリア全体の動線  デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。  正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの管			(2) 秋中天珠の相中	
6-2. 動線計画の方針  (1) 駅西エリア全体の動線  デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接 する、というレベル感で記載。  正面 (駅側/商業施設側) からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの留			(2) 諸至囬槙の想定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(1) 駅西エリア全体の動線 デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接する、というレベル感で記載。	1			必要要件となるもの(収蔵庫1000㎡程度など)は具体的数字を記載する。
(1) 駅西エリア全体の動線 する、というレベル感で記載。 正面 (駅側/商業施設側) からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの経	1	6-2.	. 動級計画の方針	
する、というレベル感で記載。			  (1)駅西エリア全体の動線	デッキ建設の決定がなされていないため、駅との連続性、駅西他施設との接続を意識
┃  ┃			1 - 200	1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1
載。			(2) 駐車場からの動線	正面(駅側/商業施設側)からのアクセスと、駐車場からのアクセスでの留意点を記
			( - )	載。

(3) 施設内の動線	利用の利便性、融合のメリットを活かす形、利用と管理の動線をなるべく分離、など
(0) 1000(1) 1331(3)	の記載。
	今後検討事項として確実に拾うべき内容を記載。想定案として①参加型の施設整備計
	画 ②複合施設を活かした機能構成とデザイン ③大熊町の資産として最大限に活か
6-3. 計画、整備に係る留意点	され持続可能な施設計画 ④すべての来訪者に配慮された計画とユニバーサルデザイ
	ン ⑤環境への配慮とゼロカーボン ⑥防災 ⑦最新の動向の確認と持続可能性の検
	証 ⑧大野駅西エリアおよび周辺施設との連携
7. 管理運営計画	
	管理運営計画を検討するにあたっての前提となる方針を記載する。具体的には①利用
	者の利便性に配慮した施設運営、②複合施設の強みを生かした運営と管理、③最新の
7-1. 管理運営の基本方針	動向の確認と持続可能性の検証、④大野駅周辺施設との連携、⑤町内他施設および町
	外施設との連携、⑥町民、来訪者および事業者との連携、を記載。
7-2. 管理運営形態	
	近年の公共施設で見られる管理運営形態として直営、業務委託、指定管理、DBO、
(1) 一般的な管理運営形態	PFIといった方法がある旨を整理。適切な形態を検討することを記載。
	教育総務課にて視察等調査を行った他施設の管理運営方法の事例として、参考になる
(2)他施設における管理運営形態事例	ものを記載。
	教育総務課内での検討及び、検討委員会での議論を踏まえ、管理運営計画の素案を2
	案程度記載(議会、町長などに認められれば素案①のみ。ダメなら2案にて)。今後
(3) 本施設における管理運営形態素案	検討を深めることで、決定していく旨を記載。特に、産業交流施設では設計段階から
	指定管理予定者を選定していることなども踏まえ、早期の参画も念頭に早い段階での
	決定を目指す。
	業務受託者・運営者等のの参画時期、産業交流の指定管理者との調整、開館時間、将
7-3. 管理運営計画における留意点	来のあり方について記載。
8. スケジュール・推進体制と今後の課題	
0.4 == / \ . \ .	表形式の簡素なもので記載。具体的には
8-1. 整備スケジュール	設計期間:R5~R7年度/工事期間:R8~R9年度/開館予定:R10年度
8-2. 推進体制の検討	基本方針の記載を踏襲の想定。
8-3. 今後の課題	8章関連に加え、全体を通して今後課題となる内容を記載。
参考資料	
1. 町民ニーズ把握	
1-1. アンケートフォームおよび全体の結果	アンケートフォームおよび、アンケート結果のすべての図表を記載。
1-2. ヒアリング結果	ヒアリング全員のメモ。
1-3. ワークショップ	ワークショップの様子の写真。
2. 検討委員会	資料は全て公開のため、もし特記すべき事項あれば記載。